

【特集】
行楽の秋 花のイベント特集

- ◎ PICK UP FLOWER SHOP あなたの街の花屋さん
- ◎ バラの品種検討会を実施
- ◎ 北九州 鉄・花の慰霊祭
- ◎ キックオフ! いい夫婦の日キャンペーン始動
- ◎ 若者育成事業報告
- ◎ 部会活動報告

11月22日は「いい夫婦の日」です。これまで二人で過ごしてきた時間をちょっと振り返ってみるいい機会かもしれません。

この日を彩るのにふさわしい花といえば、赤いバラ。オーソドックスですが、種類、色ともに、花の贈り物では一番人気を誇ります。

華やかな赤いバラの花言葉は「愛情」。日ごろ言葉にすることが少ない。「ありがとう」「これからもよろしく」の気持ちを花束にして、大切な方へ贈りましょう。

しっかりと巻かれた真紅の花びらは、二人が重ねてきた年輪のようにも見えます。



PICK UP FLOWER SHOP

vol. 50



夫婦で営む花店、夫は、長年10周年を迎えます。花市から仕入れる花は、長く売られてきたという品質を重視しています。各々がブランド化している生産者の方が多いです。生産者を見かねて花を運ぶことも多いですね。品質の良い花が店にあると、私たちスタッフも気持ちよく働くことができます。私たちの仕事は、花を売らなければならない。自宅や店など花を飾る場所から予約された商品を提案すること、1、2年ほど前から予約の営業に変更したこと、これまでに一人ひとりにお客様に合わせた対応ができるようになったこと、私たちが花の仕事を、花を売らなければならない。自宅や店など花を飾る場所から予約された商品を提案すること、1、2年ほど前から予約の営業に変更したこと、これまでに一人ひとりにお客様に合わせた対応ができるようになったこと、私たちが花の仕事を、花を売らなければならない。

夫が営む花店、夫は、長年10周年を迎えます。花市から仕入れる花は、長く売られてきたという品質を重視しています。各々がブランド化している生産者の方が多いです。生産者を見かねて花を運ぶことも多いですね。品質の良い花が店にあると、私たちスタッフも気持ちよく働くことができます。私たちの仕事は、花を売らなければならない。自宅や店など花を飾る場所から予約された商品を提案すること、1、2年ほど前から予約の営業に変更したこと、これまでに一人ひとりにお客様に合わせた対応ができるようになったこと、私たちが花の仕事を、花を売らなければならない。

夫が営む花店、夫は、長年10周年を迎えます。花市から仕入れる花は、長く売られてきたという品質を重視しています。各々がブランド化している生産者の方が多いです。生産者を見かねて花を運ぶことも多いですね。品質の良い花が店にあると、私たちスタッフも気持ちよく働くことができます。私たちの仕事は、花を売らなければならない。自宅や店など花を飾る場所から予約された商品を提案すること、1、2年ほど前から予約の営業に変更したこと、これまでに一人ひとりにお客様に合わせた対応ができるようになったこと、私たちが花の仕事を、花を売らなければならない。

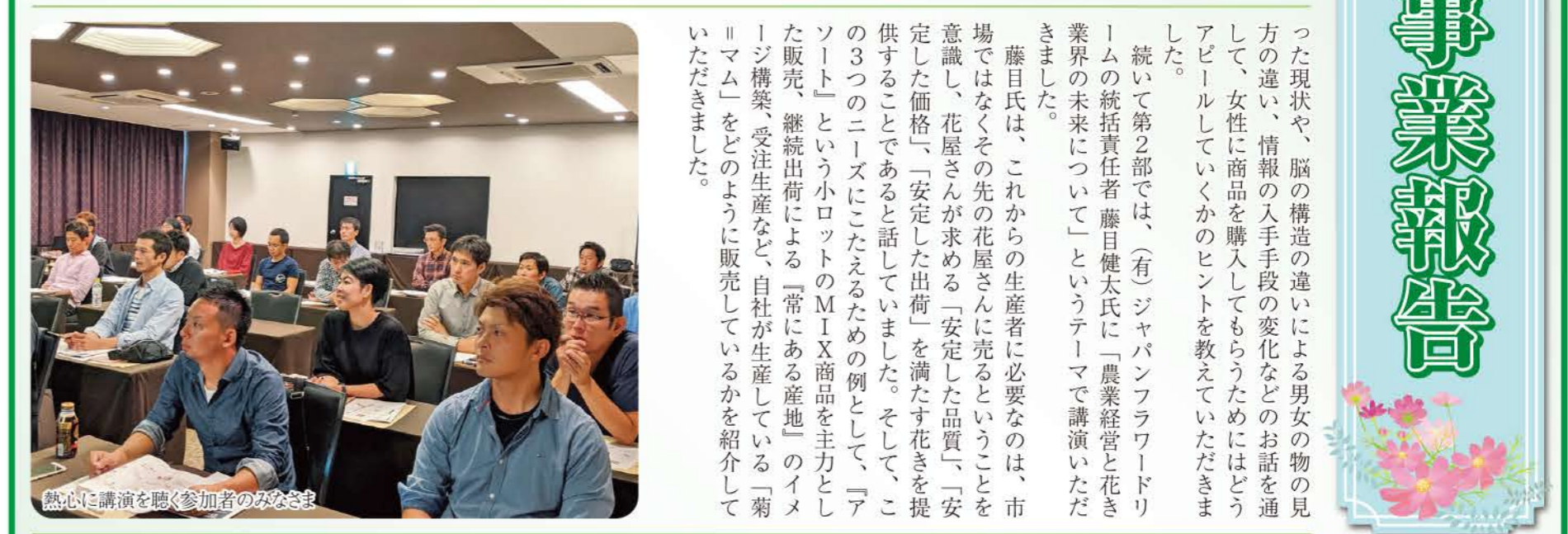
若者育成事業報告

福岡県花卉協会は、若者育成事業として、これからの時代に花を生産する若手生産者が経営について理解を深め、それが抱える問題を共有し解決する糸口を見つけるためのきっかけとして研修会を開催しています。はなこ11月号では、その活動の一部を紹介いたします。

10月11日(金)に、TKAホールディングス福岡支店(博多駅前)で若者育成事業全体研修会を実施しました。

第一部では、女性を対象としたマーケティング事業を展開する「オアシス」より専務取締役の阿部博美氏をお招きし、「令和元年『見える消費時代』の女性マーケティングの悩み方」というテーマで講演いただきました。

講演では、女性が選択するライフコースの多様化により女性の価値観や取組にも多様性が生まれ、以前のように年齢でマーケットを掴めなくな



2日目の午前部では、業界視察研修会として、「都内花店視察」「都内緑化空間工事施工事例視察」「花き業界のトッププロダクションとマーケット」の3つの班に分かれて行動しました。

午後の部では、NATULOCK銀座(東京都中央区銀座)に全員が集まり、まず、プランニンググループで1日目に参加した4つの分科会の中から自分が一番興味をもったものを選び、同じテーマの分科会を選んだ参加者とこれかどう行動して、最後のクロージングセッションを行い、各グループが作成したアクションプランを発表し、各サミット参加者全員で、花き業界を活性化するために今後起こすべき行動を確認しました。

2日目の午前部では、業界視察研修会として、「都内花店視察」「都内緑化空間工事施工事例視察」「花き業界のトッププロダクションとマーケット」の3つの班に分かれて行動しました。

午後の部では、NATULOCK銀座(東京都中央区銀座)に全員が集まり、まず、プランニンググループで1日目に参加した4つの分科会の中から自分が一番興味をもったものを選び、同じテーマの分科会を選んだ参加者とこれかどう行動して、最後のクロージングセッションを行い、各グループが作成したアクションプランを発表し、各サミット参加者全員で、花き業界を活性化するために今後起こすべき行動を確認しました。

フラワースミット

若者育成事業では、9月6日(金)〜7日(土)に東京で開催された「フラワースミット」に県外視察研修会として参加しました。

フラワースミットは、「花の国日協協賛会」が主催するセミナーで、全国の生産者や市場、種苗メーカー、資材業者など、さまざまな立場から花に関わる人々が垣根を超えて意見交換する場です。5日間の開催を超えて今年もサミットには、全国から146名が参加しました。

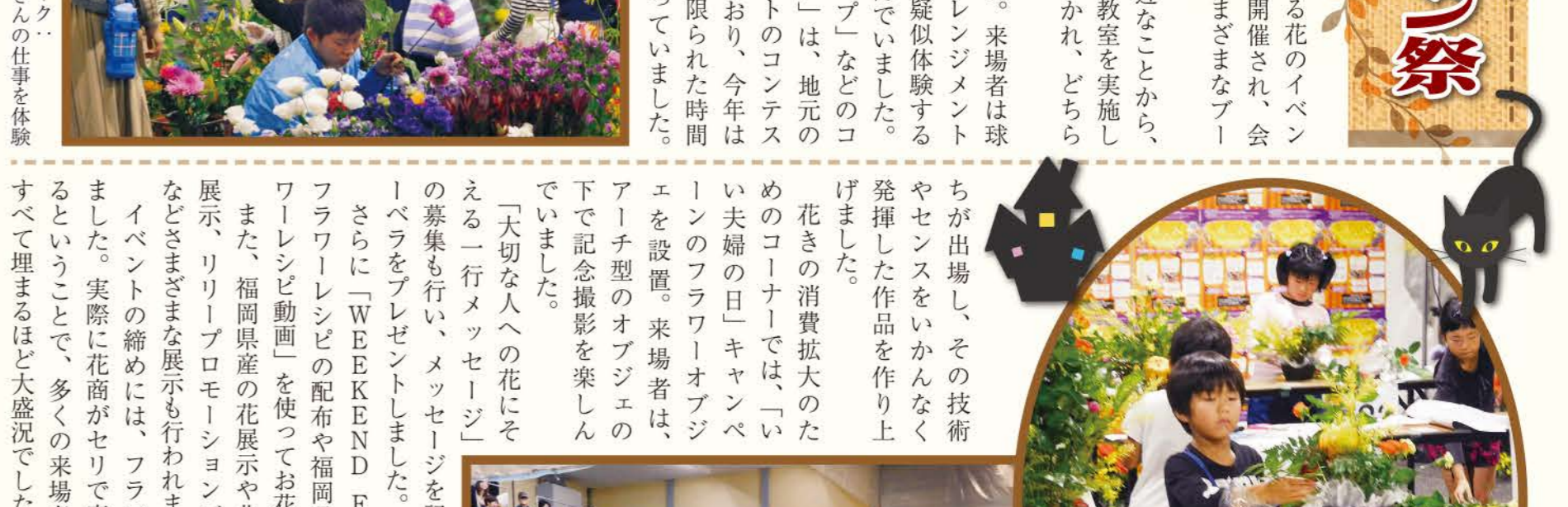
初日は、ゲストに小泉進次郎氏をお迎えしたパネルディスカッションから始まりました。パネラーとして、大田花き産地代表執行役員、日比谷花産 宮島代表取締役社長、花きエッセイスト 吉川代表取締役の3名が登壇し、モデリタのパイコンバージョン、井上代表取締役の海外のことも今回の開催テーマである「Connected」を軸に、花と花屋がどう密に情報共有するために、どこで産地が活躍していくか?外部の協力を得るためにどのようなことができるか?などに



部会活動報告

一般花部会は、10月10日(木)に糸島農業高等学校でフラワールアレンジメント教室を実施しました。参加したのは、同校の生活科学科と農業技術科の3年生76名です。

生徒さんたちは、講師の「みとま花園」三吉道夫氏のお話しを聞きながら、ガーベラやトルコギキョウ、カーネーションをオアシスに挿していき、最後にミカボチャに挿して作った「アキハク・オーランタン」を飾り付けて、ハロウィンのフラワールアレンジメントを作成しました。



北九州花回マン祭

花商と生産者、北九州花市場が合同でつくる花のイベント「北九州花回マン祭」が10月27日(日)に開催され、会場となった北九州花市場では、花に関するさまざまなブースが設置されました。

体験教室のブースでは、ハロウィンが近いことから、カボチャを使用したフラワールアレンジメント教室を実施しました。また、多肉植物の寄せ植え教室も開かれ、どちらの教室も多くの方にお集まりいただきました。

会場内には、「フラワー」ブースを設置。来場者は球根を植え、花を収穫し、その花でフラワールアレンジメントを作成するという生産者から流通までの仕事を疑似体験することで、楽しみながら花の流通のしくみを学んでいただきます。

さらに、「ちびっこカップ」や「北九州カップ」などのコンテストも実施されました。「ちびっこカップ」は、地元小学生たちが参加するフラワールアレンジメントのコンテストです。低学年の部と高学年の部に分かれており、今年は各部25名の合計50名が出場し、30分間という限られた時間の中で「一生懸命フラワールアレンジメントを作っていました」。

「北九州カップ」では、子選を勝ち上がった九州のトップフロリストたちが、「大切な人への花に」をテーマに、メッセージを記入していただいた方にはガーベラをプレゼントしました。

さらに、「WEEKEND FLOWER」のPRとして、フラワール動画の配布や福岡県花卉協会のPRとして、また、「福岡県産の花展覧会」の予選出品作品展示、リリープロモーションブースでのユリの魅力の紹介などさまざまな展示も行われました。

イベントの締めには、フラワールアレンジメントが開催されました。実際に花商がセリで座るひな壇でセリ体験ができるという点で、多くの来場者にお申込みいただき、座がすべて埋まるほど大盛況でした。

ハロウィンパレード in ぬいのはま

「ハロウィンパレード in ぬいのはま」は、西南学院大学の学生さんが街おこしのイベントとして、ハロウィンパレードに毎年企画しているイベントです。ハロウィンパレードや子どもワークショップなどが行われ、お子さん連れのご家族が多く参加するイベントで、今年は西南学院大学のコロナ禍実施しました。

会場は2か所に分かれており、10月26日(土)は浜浜商店街物産場、27日(日)はウェストコート浜浜で開催されました。地元の花店の「フルリカラー」は、「花物語」ウェストコート浜浜店様に協力いただき、様々なお土産をご用意しました。また、親子で楽しむことのできるフラワールアレンジメント教室や、パレードに参加した子どもたちへの福岡県産のハロウィンパレードの花の魅力をPRしました。

バラの品種検討会を実施

福岡県花卉協会は、10月18日(金)に福岡花市場内の会議室で、バラの品種検討会を実施しました。

品種検討会には、今井ナナ子(所在地: 広島県)や園芸バラ園(滋賀県)、京成バラ園芸(千葉県)の3社に、来場いただき、それぞれが育て、販売されたバラを、紹介いただきました。参加された部会員、県外生産者、関係機関の方々は、手元の資料を確認しながら、説明されるバラの特性やアピールポイントに耳を傾けていらつしやいました。

今回展示されたバラは、品種検討会終了後に場内の展示ブースに展示され、セリ等で来場された花商のみならずにも紹介されました。



北九州 鉄・花の慰霊祭

北九州生花商協同組合と福岡県花卉協会は、10月4日(金)の6時35分より「鉄・花の慰霊祭」を行いました。

慰霊祭当日は、北九州花市場内のひな壇に生産者、花商、市場関係者が集まり、一年間自らの生活を支え、人々に癒しと潤いを与えてくれた花々と、仕事で使用した大切な鉄に感謝の祈りを捧げました。



いい夫婦の日キャンペーン始動

10月21日(月)より、「いい夫婦の日」のPR活動が今年も始まりました。

福岡花市場と北九州花市場では、福岡県花卉協同組合と北九州生花商協同組合にご協力いただき、21日朝のセリ開始前とキャンペーンについて説明し、参加者の方々に「いい夫婦の日」をPRして参ります。

今後は、小倉井筒屋やウェストコート浜浜、MARK IS 福岡ももちろん県内さまざまな場所で開催するイベントやメディアを通して、一般消費者の方々に「いい夫婦の日」をPRして参ります。

